

修復記録
Restorations

[平成2年度修復処置]

アドルフ=ジョセフ=トマ・モンティセリ
《カシスの港》

油彩, 桧板
34.3×51×1.3cm
P.1959-160

保存状態:

1. 過剰な保護ニス
2. ニスの黄変

修復処置:

1. 保護ニスの洗浄
2. 保護ニス塗布

シャルル・コッテ
《ムーラン・ルージュの女たち》

油彩, カルトン
36.5×51×0.4cm
P.1959-40

保存状態:

1. 画面の汚損
2. カルトン素地の左側辺が10mmにわたり厚さが不足し、
曲げ折れている

修復処置:

1. カルトン素地の折れの平面化, 人工樹脂の含浸強化
2. 素地の厚さ不足部分に新しいカルトンを接着補強
3. 画面清拭

(河口公生)

[平成3年度修復処置]

フセーベ・デ・リペーラ
《哲学者クラテース》

油彩, カンヴァス
124×98.5cm
P.1989-1

本年報修復報告書(pp.35-41) 参照。

コルネリス・ド・ヘーム
《果物籠のある静物》

油彩, 桧板
44.5×72.5×0.6cm
P.1990-2

保存状態:

1. 額下被りの右上角から12cmの所に6×8mmの欠損
(額下に固着)
2. 過剰な保護ニス
3. 古い補彩の黄変

修復処置:

1. 欠損部周辺の固定(接着剤の含浸)
2. 古ニス洗浄
3. 古い補彩除去
4. 充填
5. 補彩
6. 保護ニス塗布
7. 額装

ジャン=フランソワ・ミレー
《春(ダフニスとクロエ)》

油彩, カンヴァス
235.5×134.5cm
P.1959-146

保存状態:

古色ニス(アスファルトを含む)が褐色に変化,
不乾性のため滴下

修復処置:

1. 古ニス洗浄
2. 保護ニス塗布
3. 額装改良